

## 2016年度 麻生明星幼稚園関係者評価報告

日時：2016年11月30日(水)午前9:30～11:45 会場：麻生教会会議室

関係者評価：麻生明星幼稚園園長・麻生明星幼稚園監査委員、在園児保護者×2名、麻生教会員×5名  
(元幼稚園教諭・元保育士・元幼稚園事務員・元看護師・麻生明星幼稚園卒園児保護者・麻生教会役員)

上記の通り、関係者及び第三者合わせて12名で評価を行った。

---

### ●当日のスケジュール

- |        |   |
|--------|---|
| 9時30分  | 礼拝堂集合・祈祷・幼稚園評価開始・自発遊び見学 於 各保育室&ホール&園庭                                   |
| 9時50分  | あじさい(年中)・ぼびー(年長)お片付け・朝の祈り   |
| 10時15分 | もも(満3才)・ちゅうりっぷ(年少)お片付け・朝の祈り<br>ぼびー(年長)・あじさい(年中)降誕劇(ページェント)練習見学 於 幼稚園ホール |
| 11時00分 | 関係者・第三者は懇談のため退出   |
| 11時10分 | 関係者・第三者懇談会 於 教会会議室  |
| 11時45分 | 評価用紙記入・回収・解散  |

当日は園長からの説明文及び評価記入のためのプリントを配布し、それぞれが幼稚園での活動の見学を行った。園長による説明及び、関係者・第三者による主な評価については以下の通り。

### 1. 自発活動・自由遊び(登園～10:30)について 於 幼稚園全体

#### ●園長より

子ども同士の間で展開される「自由な遊び」こそが子どもたちの成長に最も重要な手段だと考え保育を行っています。近年、大人も子どもも「自分で判断し、行動する力」が弱まっている現状があると感じていますが、幼稚園で展開される「異年齢」の遊びの中で、お兄さんお姉さんを良い模範としつつ、保育者が園児の間に入って適切な刺激を与え、子どもたちの「考える力」「行う力」を育むことができるように援助することを目指しています。

子どもたちは幼稚園内の至る所で好きな遊びを展開しています。最終目標は教師が間に入らなくても皆が自分で好きな遊びを展開することです。教師主導の活動ではなく、子どもたちが自身の判断において「好きな遊びを選び取っていく」ことを自然に積み重ねていくことで自分が将来歩む道も、つかみ取ることができるようになると信じています。

#### ○園庭での遊びについて

- ・広々とした園庭で冬も元気に遊んでいる様子がうかがえました。
- ・のびのびと自発的に自由に遊ぶのが何よりも子どもの成長に大切だと思います。変化する時代こそ、自分で考え、判断する力、麻生明星幼稚園の子どもたちが大人になったときに自分の足でしっかり立つことができる人間となるために、遊びの大切さを思い起こしました。

- ・元気に雪の中を遊び回って思い思いの行動をしていました。3才児と5才児ではこんなにも成長に違いがあるものなのかと思いました。
- ・小さい子が上の子のすることを見ていて真似をしている様子がありました。外あそび以外の子どもたちがレゴやお絵かきをしていてとても集中していました。
- ・先生たちの立ち位置が良くて安心して観ていました。安全に対して配慮がいいと思いました。
- ・特別な遊び道具（おもちゃ）がなくても雪で皆自由に楽しく遊んでいる様子がありました。雪かき道具で遊んでいる子たちについては少ないスコップを取り合いすることもなく、自然に順番に出来ていました。
- ・外遊びで帽子を被っていない子どもがいました。雪玉が飛んでくることもあるので、頭を守ることを意識して教えて欲しいと思いました。

## ○園内での遊びについて

- ・始まる前までそれぞれ自由な行動をしていました。絵を描いたり、ままごとをしたり、子どもたちが思ったよりも静かでした。
- ・こんにちは！と挨拶をしてくれた子がいました。日曜に麻生教会に出席している園児が顔を覚えてくれていたようで、自分と弟のロッカーを紹介してくれました。
- ・おのおの好きな場所で様々な好きな遊びを楽しんでいる様子が伺えました。全てのドアを解放し、皆が自由に行き来しやすく、中の様子も見やすくしているのがよいと感じました。特にホールでは異年齢の子と一緒に遊んでおり、得ることも多いのではと思いました。
- ・全クラス、速やかなお片付けに関心した。ぽぴ一組で今日のお誕生日の子を祝っていた。お誕生日の回だけではなく、個別に祝ってもらえるのは子どもにとって格別に嬉しいことだと思います。
- ・自由時間は子どもが自由に好きなことを見つけ、集中して遊んでいる様子がありました。絵を描く子、ブロックを友達と一緒に何かを作っている子、ピザを作る子、空き箱で何かを自分なりに考えて楽しそうに作っていました。外では満3歳児が雪の中で楽しく、お友達と先生と楽しく遊んでいる様子を見ることができました。

## 2. クラス活動について

### ●園長より

自由で創造的な発想は日々の秩序正しい生活の積み重ねから生み出されると考え保育を行っています。クラス活動は椅子に座り、心を静め、祈ることから始まり、工作・手遊び・絵本読み・ゲームなどを通して保育を行います。これは自発活動・自由遊びと共通する点ですが、麻生明星幼稚園では「読み書き」「計算」などをカリキュラムに盛り込むことはありません。けれども、それぞれの遊びを通して「原体験(記憶の底にいつまでも残る幼少期の体験)」を重ねることで、日々の生活や小学校での学びに必要な知恵や知識を自然と身につけていくことを目指します。

今回の評価ではページェント練習(聖誕劇)について見学し、評価をいただきます。聖書には人間が生きるべき正しい姿勢や指針がたくさん書かれていますが、ページェントでは聖書の登場人物を「演じる」ことで聖書の言葉を子どもたちが「語り」、これを「見る」ことで神さまの言葉を心に刻みつつ、本当に大切なものを選び取る力をはぐくむことを目指します。

### ○ページェント練習(10:15~11:00)

- ・聖書の言葉をよく覚えてはつきり伝えていて関心しました。
- ・これまでページェントの本番のすばらしさを見せていただいていたのですが、練習をこんなにも一生懸命した結果であったと思いました。教師の指導もすばらしいと思いました。一人ひとりの子どもの個性が輝いていました。
- ・教師の指導力の確かさで子どもたちも真剣に演じていました。聖歌を歌う声にイエスキリストの生まれる喜びが伝わってきました。
- ・皆一生懸命頑張っている姿を見て楽しそうでした。ページェントを通して知らず知らずの内に聖書の御言葉を学んでいることが分かりました。
- ・出番の子はもとより、出番ではない子もまじめに真剣に取り組んでいて関心しました。まだ2回目の練習とは思えない立派さで本番の仕上がりが楽しみです。
- ・今の時期にしっかり言葉を覚えて練習できるのは皆が頑張っている証拠と思って見ていました。ページェントを通して聖書の言葉を心に刻んで成長して欲しいなど心から思いました。久しぶりに懐かしい雰囲気に触れることができ感謝しています。

### ○その他の意見

- ・子どもたちの身のまわりの片付けがよくできてよかったと思いました。
- ・遊ぶときはよく遊び、椅子に座ったときには先生のお話をよく聞いていました。
- ・子どもたちがそれぞれの学年を超えて仲良く遊んでいる様子が見られました。また、よく落ち着いていて一つになっていると思いました。
- ・健常児ばかりでなく、課題を抱える子どもたちがいることは大変よいことだと思いました。互いの違いを認め合い、弱さを担い合い、大切にしよう心が育まれていると感じています。先生方の愛を込めてのご指導に感謝でした。
- ・最近では固形石鹸に慣れていない子どもが増えている印象がありますが、うまく使えていて驚きました。また、年少さんが思った以上に自立していることに驚きました。
- ・園児たち全員が集団生活になじんでおり、先生の指導力がすばらしいと思いました。
- ・マイペースで動く子どもがいても、大きな波が起こらずに自然に保育が流れていくのは流石と思いました。保育者が全体をきちんと受け止め、子どもたちも受け入れている様子がよくわかりました。

### 3. 懇談会で交わされた意見について(11:10~11:45)

それぞれが見学・評価を終えた後、様々な意見が交わされた。主な意見の要点と園長による回答は以下の通り。

#### ●「特別な支援が必要な子どもたちへの対応について」の質問

ページェントの劇の練習中に椅子に座らずに立ち歩く子どもがいました。教師はその園児に対して無関心であったように見えたのですが、もっと寄り添うこと、あるいは協調性について指導し、ページェント本番のときに困らないように対策をすることが必要ではないのでしょうか。

## ○園長の回答

当園では特別な支援が必要なお子さん(自閉症スペクトラム・ダウン症・肢体不自由等々)について、全園児の1割程度の受け入れを行っています。正職員は札幌市私立幼稚園協会及び札幌市教育委員会主催の特別支援教育の研修受講修了証を受け、認定をいただいています。教師たちは年間カリキュラム・月案・週案・日案のもと、特別に課題が認められる園児については療育施設とも連携をとりつつ、個別の指導計画を作成しています。園児の家庭での状況、通所する療育施設での指導方針や日々の保育の流れ、当日の園児の体調など、すべての事情を勘案し、その日のベストと思われる関わり方を選び取っています。こうした日々の積み重ねの結果、教師と子どもたちの間の信頼関係は厚いと感じています。課題が他児よりも大きい子どもたちもページェント本番では自分の役割をしっかりと演じることができると祈り、信じています。

## ●「クリスマスページェントのあり方」について

麻生明星幼稚園での劇について初めて見学しましたが、全園児に役割が当たっていなかったように見えました。個人的には全員に配役があたった方がよいと考えますが、役が当たらなかった保護者の方々に納得のいかない人が出てくる可能性はないでしょうか。

## ○園長の回答

ページェントは年長・年中の園児たちが全員で演じます。年長については劇中のマリア・ヨセフ・博士・ガブリエル・ナレーター・聖書の言葉など、それぞれ個別の役割があてられ、1つの役を1人が演じます。また年中については天使・星・羊飼いななど、1つの役を複数人で演じます。これまで54年間、クリスマスのページェントはこの形で行ってきました。保護者の方々からの理解も得ていると感じています。

## ●年長児の朝の会について

年長児のクラスではリーダーをたて、朝の会を行っていました。とても形になっていて、今後の子どもたちの生活について大変よいことだと思いました。

## ○園長の回答

昨年度から小学校への接続を意識し、年長児の朝の会については教師主導ではなく園児たちが当番制で朝の天気などの連絡事項を発表しています。また、帰りの会も行っており、その日にあった「楽しかったこと」などの発表をリーダーが行っています。

## ●その他、交わされた意見は以下の通り。

- ・園での活動が安全に保たれていることに安心を覚えました。
- ・家庭とは違って園の活動では集中し、メリハリがついている子どもたちの姿が見られました。年齢を重ねるごとに成長する子どもたちの様子を見ることができてよかったです。
- ・本日は園庭で雪遊びをする子どもも多くいましたが、園舎に残って活動をしている子どもたちも制作等によく集中していました。